

取手市スポーツ協会スポーツフェスティバル「ドッジボール大会」競技規則 2026

組み合わせ	組み合わせは参加状況に応じて行い、当日朝抽選により決定する。
チームの編成など	原則として1チーム12名以上18名以内とする。但し、12名そろわない場合は8名以上ならば良い。また男女混合も認める。 試合開始前及び終了後に両チームの選手全員がセンターラインを挟んで整列し挨拶を行う。
試合の勝敗	試合は1試合1セット7分の2セットとし、セット間に2分間の休憩時間をとる。 セット終了時に、内野選手のみがその場で座り、審判がチームごとに人数を数える。 勝敗の決定は以下による。 (1) セット終了時の内野の人数の多い方を勝者とする。 (2) 内野選手が0となった場合、相手チームをそのセットの勝者とする。 (3) 2セット先勝若しくは1勝1分けしたチームを勝者とする。 (4) 2セット終了時、1勝1敗の場合は内野の総残人数で決定し、内野の総残人数も同じの場合は1分間の休憩後に、3分間の延長セットを行う。(2分けの場合も同じ) (5) 延長戦でも勝敗が決定できない場合は、各チーム代表5人が同時にジャンケンを行い勝者が決まるまでジャンケンを行う。勝者の多い方をゲームの勝者とする。
コートを選定	試合に先立ち両チームの代表者のジャンケンで勝者が優先してコートを選定を行う。 2セット目はコートチェンジを行う。 延長セット目はそのままのコートで行う。 コートとベンチは同一の場所とする。
試合開始	出場選手は12名とし、セット中の選手の交代は認めない。ただし、負傷退場と審判が判断したときのみ選手交代を認める。 第1セットの試合開始はコートを選定したチームとは異なるチームの内野から行う。 第2セットは第1セットとは逆のチームの内野から行う。 延長セットは両チームの代表者によるジャンケンを行い勝者側チームの内野から行う。 試合開始時には外野選手を1名以上配置する。 試合開始時に外野に配置された選手は、相手選手をアウトにするまで内野に戻れない。
アウトの定義	相手チームの投げたボールがノーバンドで内野選手の体に触れ、自チームの誰もがノーバンドで捕球できなかったときは最初に触れた選手をアウトとする。 アウトの選手が出た場合はプレーを中断し、再開はアウトになった選手のいるチームの内野から行う。 アウトを取った選手が直ぐに内野に戻らなかった場合は、内野に戻れない。
顔面攻撃の定義	攻撃する選手のボールがノーバンドで相手選手の顔面(肩以上)に当たった場合、主審が顔面攻撃と判定した場合、当てられた選手はセーフとなる。 但し、顔面前に手で防御した場合及び故意に顔面で受けた場合はこの定義ではない。
相手側ボールとなる場合	顔面攻撃を行った場合、投球時にラインオーバー(ラインを踏んだ場合も含む)をした場合、選手がボールを保持してから5秒以内に投球を行わなかった場合、味方で内野同士・外野同士のパス(外野同士のアタックは除く)を行った場合は相手側ボールとなる。
警告と退場	ラフプレー、意図的な競技の遅延、しつようなアピール等、故意に試合進行の妨害が行われた時、警告が与えられる。 同一選手が再度の警告を受けた時は、退場となり試合は欠員のままで行われる。 退場者が4名以上出た場合、そのチームはゲームの敗者となる。
その他	外野の外に出たボールはすべて外野選手のものとなる。 パス回数の制限はなし。 試合中は、全て審判の指示に従うこと。 試合中の判定は、審判の判定に従う。選手及び監督は抗議、質問をしてはならない。

応援の方は敵味方を問わず、あたたかい応援をしていただくようお願いいたします。